

東大分校区まちづくり協議会



防災体験会開催

2023.9/23

各自治区の参加者106名と協議会構成員と防災士・ボランティア・消防団東大分分団・大分県防災活動支援センター・体操講師を含めた計141名の参加で四つのブースに分けてローテーションで体験しました。

地震時の耐震装置などの説明



地震被災に備えてのタンスの固定や倒壊防止装置などの展示紹介で災害防止策を身近に感じました。

避難時の非常食を体験試食



水があれば20分で出来上がる非常食の実技体験試食を行い、簡単にできて美味しいと好評でした。

避難時の運動不足解消のフレイル体操



被災時の避難生活が長引くと運動不足とストレスで体調不良になりがちです。簡単にできる身体運動を体験しました。

防災学習車の体験



消防署の防災学習車を借用し、東大分分団員による火災時の煙体験や天ぷら油の燃焼実験・初期消火の消火器使用訓練の体験などから、火災予防の再確認をしました。

ボランティア団体

『美助っ人(ビスケット)』の発足 2022.10/3

校区内を美しい環境にする活動を『美助っ人』とし、些細なお助け活動は『微助っ人』と称し、どちらも『ビスケット』と読みます。

現在40～80代の10名が登録されています。

主な活動は東大分小学校周辺環境整備を月一回程度行っており、そのほか防災体験会のお手伝いや公民館の美化作業なども実施しています。

地道に活動が続けることで、賛同者を徐々に増やして活動の範囲を拡げていきたいと思っています。

又、社会貢献活動として書き損じはがきやペットボトルキャップの回収なども行っています。



城東原川

きずな
絆

第26号

城東原川地区まちづくり運動推進協議会

地域まちづくり活性化事業 城東原川地区

まちづくりフォーラム 2023



持続可能な減災社会の実現に向けて！
～率先避難者になるために～



開催日時 2024年(令和6年) 2月3日(土)

開場 13時30分 講演 14時～15時

場所 大分東部公民館 大会議室
(大分市日吉町3-1)

入場無料 ※駐車場には限りがございますので、乗り合わせのご来場にご協力お願いいたします。

近年の自然災害は甚大化しており、日本各地で毎年のように多くの被害が発生しています。そのような中、大分県でも今年の7月には梅雨末期の豪雨により由布市や中津市で土砂災害等により、犠牲者が出てしまいました。

これらの甚大化する災害から「自分の命」や「大切な人の命を守る」ためには「早期避難」が重要となります。

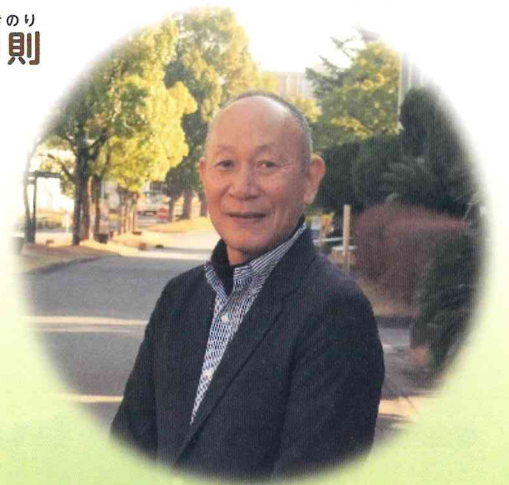
どうすれば「早期避難に繋がるのか」について、これまでの現場活動の経験や調査結果を基にお話いたします。

講師

大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 防災コーディネーター 板井 幸則

- 昭和59年 4月 臼杵市消防本部 臼杵市消防署に入署
- 平成 7年 10月 救急救命士試験に合格
- 平成23年 3月 3月11日、14時46分に東日本大震災発生。14日～22日の期間、大分県緊急消防援助隊(臼杵隊長)の一員として、岩手県釜石市鶴住居町に赴き、「釜石の奇跡」となった鶴住居小学校、釜石東中学校等で人命捜索活動を行う。
- 平成24年 4月 臼杵市 市長部局(総務部)に出向 総務課 防災危機管理室(防災危機管理監兼室長)
- 平成29年 4月 臼杵市消防本部 消防長 就任
- 平成30年 3月 臼杵市消防本部 早期退職
- 平成30年 4月 国立大学法人 大分大学にて、減災・復興デザイン教育研究センターの防災コーディネーターとして活動の幅を広げる。大分県防災教育推進委員や大分県学校防災アドバイザーとしても活動中。

資格 救急救命士、潜水士等



津留地区 まちづくり協議会 孝行の里 津留 ひと☆キラリ



津留地区東津留1丁目の一角に「身代わり地蔵」、「甚吉地蔵」と言われる地蔵堂があり、堂内には首の無いお地蔵様が安置されています。江戸時代(元文)に貧しい家の子甚吉が、病気の母が瓜を食べたがっていることを知ると、親孝行の甚吉は悪いと知りつつ闇にまぎれ瓜を盗みました。度々盗まれるのに立腹した地主は、瓜泥棒を一刀のもとに斬ってしまいました。ところが斬られたのは人間では無くお地蔵様の首だったのです。甚吉の話が今に伝わり、「甚吉音頭」として運動会や盆踊りなどで、地域の人々に親しまれ、受け継がれています。その第2弾として、このたび「甚吉ばやし」が完成し、「甚吉クラブ」が発足。活動の輪を広げています。

甚吉クラブ代表の足立めい子さんをご紹介します。



津留地区に古くから伝わる民話を基に創作された甚吉音頭は、地域で長い間踊り継がれてきました。令和元年に、より親しみやすく軽快に踊れるようにと、「津留甚吉ばやし」の曲が創られ、令和4年に踊りの振り付けも完成。この甚吉ばやしを広めて欲しいとの依頼を受け、松井先生や公民館・自治委員さん方の力をお借りして、同年4月に「甚吉クラブ」を発足。5人でのスタートでしたが、現在24人に輪が広がり、地域のさまざまな行事に積極的に参加し、活性化に貢献したいと思います。



●「甚吉音頭」作詞＝河野新一氏 作曲＝松井猛氏 ●「甚吉ばやし」作詞・作曲＝松井猛氏

天領日岡 まちづくり協議会



「健やか 和やか にぎやかな」 住み良い日岡の根っこを紹介

令和3年10月16日に発足した「天領日岡まちづくり協議会」は11の団体によって構成されています。今回はその一つの日岡校区老人クラブ連合会を紹介。会長の藤澤孝士さん、副会長の堤俊一さんの下、260名の会員の方が「健康・友愛・奉仕」をモットーに活動しています。10月6日には、スカットボール大会が日岡公園で行われ、約90名の参加者でゲームを楽しみました。各コートでは一球一打の行方を皆で追いかけて、良いプレーが出ると会場のあちこちから歓声が上がっていました。味方チームを応援し、相手チームの健闘を讃える姿は美しく、秋風が心地良く吹き抜ける中、にぎやかな時間が穏やかに流れていました。その他、社会奉仕の日を設けたり、文化祭において竹灯籠作りに励んだりしています。時代の流れの中で減少しつつあるコミュニティですが、日岡校区の老人クラブはとても活気があります。会員も随時募集中です。興味のある方は各地区老人会までお問い合わせ下さい。



桃園校区公民館 みんなが主役！ 桃園校区 ひと☆キラリ

”桃園校区で現在活躍している人を1人挙げてください”

福間敬之輔さん

多くの方が社会福祉協議会会長の福間敬之輔(ふくま けいのすけ)さんと答えると思います。福間さんは、平成3年に桃園体育協会の事務局長に就任して以来、平成14年仲西自治区の自治委員に、平成18年から平成27年度まで校区会長として活躍しました。平成29年度に85歳で桃園校区社会福祉協議会会長に就任し現在に至っています。また、チーム桃園の会長として桃園小学校の児童に農業体験の機会を設けるなど、多くの場で中心となって活動しています。このように校区の中心となって活躍されている福間さんにインタビューしました。



Q1. 元気の秘訣は何ですか？

- ・家に閉じこもらず、毎日、自転車に乗ったり、犬の散歩をしたり等適度の運動をすることです。
- ・早寝早起きを心がけています。また、毎晩夕食時に晩酌をすることかな？
- ・茄子の辛子漬けやキュウリの漬物をつくるのが趣味で、できた漬物を交流のある人に配ることも元気の秘訣と思っています。

Q2. いろいろな活動をしている中で心がけていることは何ですか？

- ・“互譲の精神”が大切だと常に考えています。また、積極的に人と話することが相手をよく知ることになると思っています。



Q3. これまでいろいろな役職をしてきたことで特に印象に残っていることは何ですか？

- ・城東・原川地区体育文化協議会で事務局長をしたこと。桃園だけでなく、城東・原川地区での人脈ができ多くの人との交流するきっかけとなったことです。また、校区内でグラウンドゴルフの普及に尽力したことなどが印象に残っています。

福間さん、ありがとうございました。今後とも桃園校区の発展のためにご尽力をお願いします。

4年ぶり！ ★多世代交流 いきいき子どもフェスタ2023★ in 大分東部公民館 主催：いきいき子どもフェスタ実行委員会 10月15日(日)開催



うみたまご・タッチボール



賑わいました♪

オープニングとエンディングを彩ってくださった各団体様
ありがとうございました！



城東中学校



原川中学校



アイリスこども園



わいわい夢クラブ

好天に恵まれ、約1200名の来場者とスタッフで賑わいました。来場者は、輪投げやグラウンドゴルフ等体験コーナーや模擬店など合計25箇所のブースを、クイズをしながらスタンプラリー形式でまわり、地域の団体の方々と触れ合いました。ご来場の皆様、ご協力いただいた各団体様、ありがとうございました。